

守ろう！みんなの未来――。



坂戸・鶴ヶ島消防組合
消防職員募集



この街を人を守る！

坂戸・鶴ヶ島消防本部



みんなの未来を守る！



埼玉県ほぼ中央に位置し、坂戸市・鶴ヶ島市で構成する消防組織です。
敷地面積は 58.67 km²、管内人口 170,720 人(令和 2 年 4 月 1 日現在)を有し
東京都心から 45 km の圏内にあって、その立地条件から、産業経済の発展と都市化が進むとともに
豊かな自然環境をとどめ、明るく住みよい都市として発展を続けています。



職種紹介・配属先



指揮隊

災害実態・被害状況を迅速に把握し
被害を最小限にとどめるため
出場部隊の指揮統制
情報収集を行います。

Commanding Corps



消防隊

火災の現場に出場して
消火活動を行います。
また、火災だけではなく
交通事故現場等の危険物排除活動
救急事故現場での救急隊と連携した
活動なども行っています。

Fire Fighting Corps



救助隊

火災、交通事故、水難事故等あらゆる
災害現場に出場して救助活動を行います。
高度な知識と強靱な体力が必要とされる
人命救助のスペシャリスト集団です。

Rescue Corps

救急隊

救急現場に出場して
傷病者に適切な観察と迅速な応急処置を
施し、速やかに医療機関に搬送します。
救急車には救急救命士が同乗し
高度な救急救命処置を行います。



Emergency Medical Services

指令センター

管内で発生した火災・救急・救助等
すべての 119 番通報を受信
災害に応じた部隊編成を行い
出場指令、無線統制
災害情報の伝達などを行います。



Command Center

火災予防

法令に基づく立入検査や消防用設備が
適切に設置されているか確認する
防火対象物の完成検査
危険物取扱施設に対する検査等
火災を未然に防ぐための
消防用設備等の設置指導を行います。



Fire Prevention

先輩職員からのメッセージ

市民の命と隊員の命を預かる重要な役割。

私は令和元年度から、指揮調査担当に配属となり災害現場における指揮統制、情報収集、安全管理等を目的とした指揮活動を行っています。

現在運用している坂戸指揮車は、平成31年3月に更新配備されたばかりで、現場で使用する指揮板、熱画像直視装置及び現場の状況を映し出す最新鋭のカメラなど新しい資機材が配備されております。

指揮隊は、火災現場に到着後、速やかに現場指揮本部を設営するとともに、関係者からの情報収集、火災状況の把握、各隊へ人命救助や消火活動等の下命など、効率的な部隊活動を行わなければなりません。さらに、現場で活動する隊員の安全を守るという重要な役割も担っており、指揮隊の間違った判断により活動隊員を危険にさらすということも考えられることから、指揮隊の活動は大変重要であり、私は常に緊張感を持ち業務に励んでいます。

近年の社会情勢から発生する災害が複雑・多様化していることから、消防に対する市民の期待は益々高まっています。消防という仕事は危険も伴いますが、私は人の命を救うという消防の仕事に誇りを持ち、とてもやりがいを感じています。皆さんも、ぜひ坂戸・鶴ヶ島消防組合で、市民の安心・安全に貢献できる消防士、誇れる消防士を目指してみませんか！

指揮調査担当



平成4年度採用

水尻 淳

鶴ヶ島消防署 予防担当



平成17年採用

新井しのぶ

キッカケは被害にあったことから…

私が消防士という仕事に興味を持ったのは、高校生の時です。当時私の住む地域で連続放火があり、私の家もその被害に遭いました。幸い、近所の方が早期に発見してくださり大事には至りませんでしたが、とても怖い思いをしました。しかし、近所の消防署からすぐ消防車が駆けつけ、夜中にもかかわらず熱心に原因調査をする姿を見て、とても心強く思ったのを覚えています。そして私も、地域の人々の生命・身体・財産を守る消防士という仕事に強く魅かれ、消防士を目指しました。

採用された当初は、どうしても消防士は「屈強な男の職業」というイメージが強く、体力に自信のない私に何が出来るのだろうと不安に思っていました。しかし、消防の仕事には、消防隊の他に消防本部での事務職や119番を受ける通信指令業務、救急隊などもあり、現在私が今いる消防隊の業務内容も消火活動だけではなく、類似火災防止のための火災原因調査、避難訓練の指導や防火広報など活躍できる職務は多くありました。

女性消防士はまだ人数は少ないですが、とてもやりがいのある仕事です。興味のある方は諦めずにどうかチャレンジしてみてください！

消防の最大の目的は「要救助者の社会復帰」。

私は特別救助隊として勤務しています。近年発生する災害は複雑・多様化しているため、災害現場には常に多くの危険が潜んでおり、そのような環境下でも安全・確実・迅速な活動ができるよう、日々の訓練に励んでいます。また、救助隊は、人命救助を主な任務としているため、救助工作車や梯子車など多くの車両や資機材を保有しています。

私たち特別救助隊は、災害現場で最も危険な場所で活動しなければならず、その中から要救助者を救出しなければなりません。そのため、より高度な知識・技術そして判断力が必要であり、日々厳しい訓練や自己研鑽に励んでいます。しかし、似たような災害現場はあっても同じ災害現場はありません。助けを求める要救助者に対して1分1秒でも早く救いの手を差しのべられるよう、様々な災害現場を想定した訓練を実施し、全員でフィードバックすることで隊としての共通認識を深め、個人そして隊としてのレベルアップを図っています。

私たち特別救助隊、そして消防の最大の目的は「要救助者の社会復帰」です。皆さんと共に、その目的を達成し市民の方々の安心・安全を守る日が来ることを楽しみにしています。

坂戸消防署 救助担当



平成18年採用

飯塚 政史

不安…焦り…逃げ出したくなったとき、先輩が。

私は、救急救命士の資格を取得後に採用され、2年間消防隊を経験、3年目から念願の救急隊に配属され、現在、救急救命士として勤務しています。

今年からは本格的に救急車の機関員としての役割を任せられ、狭い道での走行や思った以上に揺れる救急車の揺れを最小限に留め、できる限り傷病者へ負担を与えないようにするなど、普段の車の運転より多くのことに気を配りながら業務していますが、病院搬送後に「優しく対応してくれてありがとうございました。」「女性の隊員がいてくれて安心しました。」という傷病者からの声が、救急件数が増加してきている中で次の活動への励みとなっています。

専門学校時代に埼玉県内の大学病院で実習したのがきっかけで、岩手県から上京したのですが、慣れない土地で一人暮らしをしながら働くこと、男性の多い体育会系の職場でやっていけるのか、不安を感じることも多くありましたが、今では仕事以外の私生活のことでも相談し合える家族のような先輩方ばかりで毎日楽しく過ごしています。女性である分、体力、筋力面等で周りに迷惑をかけることも多くありましたが、苦手なランニングや筋力トレーニングを欠かさぬようにし、現場で男性たちに負けないように頑張っています。

2年間の消防隊経験の中で不安や焦りを感じ、これでいいのかと逃げ出したくなったときに先輩から言われた言葉があります。「今は我慢の時、将来は笑っていられるよ。大丈夫。」この言葉が私に安心をくれました。そして、私も人に安心を与えられるようになりたいと思いました。今は、一人でも多くの傷病者やその家族に安心を与えられる救急救命士になることを目指しています。皆さんと一緒に仕事ができる日を心待ちにしています。

坂戸消防署 救急担当



平成 28 年採用

関 このみ

消防本部 指令課



平成 28 年採用

西澤 雄人

通報から到着まで間、不安と向き合う。

「人に感謝される仕事に就きたい」その一心で消防職員になりました。現在は指令課で勤務しております。指令課は、119番の通報をされた方と最初に接する窓口です。それ以外にも、様々な機器の維持管理や近隣消防の動向把握及び気象把握と業務は多種多様にわたります。私自身が、消防車や救急車に乗って現場に行くことはありませんが、通報される方が待っている間にできることや落ち着いていられるように、親切・丁寧な対応をして心のケアをすることを心がけ業務をしています。

電話越しではありますが、「ありがとうございます」とお礼をいただいた時にやりがいを感じ、私たちにしか出来ないことがあるのだと実感しています。

採用試験を受けられる方の今の目標は、消防士になることかもしれませんが、消防士になることは通過点であり、市民の方々に安心安全な生活を送っていただくために業務にあたることを忘れてはいけません。採用試験の勉強は、大変なことだと思いますが、自分自身が消防士になったことを想像し、将来を見据えながら一歩ずつ確実に進んでください。

皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

何事もまず、防ぐことが第一歩。

私は平成21年に採用され9年間、消防隊として現場活動をしていました。

今は予防課で勤務しています。消防隊員として勤務していた頃は、実際に災害が発生してしまったことを想定し、それらに対応するため、日々訓練を実施していました。

現在勤務している予防課では、火災等が発生しない様、また実際に発生してしまっても、最小限の被害で収まる様、必要な消防用設備の設置を指導しています。

近年、当管内においても大規模かつ複雑な建築物の建設が多々予定されています。そのような建築物を利用する方々の安心・安全を守るために、適切な消防用設備の設置を指導できるよう、日々勉強しています。現場で働く職員、本部で働く職員がいますが、「住民の安心と安全を守る」ということに方法は違いますが、目的は一緒です。皆さんとともに地域の安心・安全のために働ける日を楽しみにしています。

消防本部 予防課



平成 21 年採用

森田 浩行

募集の概要

消防職員の勤務体系について

- ・毎日勤務 午前8時30分から午後5時15分までで、土日祝日が休みです。
- ・交代制勤務 午前8時30分から翌日午前8時30分までで、3当務1休制となっており、4週8休制です。
- ・1年間に20日の年次有給休暇が付与され、病気、結婚、忌引、出産等の休暇制度があります。

福利厚生について

- ・職員相互の共済及び福利の増進を図るため、職員互助会があり、共済給付（慶弔見舞等）、福利厚生事業、各種部活動等を行っています。
- ・主な事業は、所属対抗ソフトボール大会、ボウリング大会などを行っています。

被服貸与について

- ・制服、活動服、防火衣など、執務において着用する被服等を貸与します。

研修について

- ・新規採用職員は、埼玉県鴻巣市にある埼玉県消防学校に6か月間入校し、寮生活の中で消防職員としての基礎を身につけます。

消防職員募集案内

- ・別途配布する「坂戸・鶴ヶ島消防組合消防職員募集案内」を参照してください。
- ・募集案内は、坂戸・鶴ヶ島消防組合のホームページからダウンロードできます。



坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部

〒350-0221 埼玉県坂戸市鎌倉町 16-16

TEL 049-281-3119 FAX049-284-9900

<http://sakatsuru119.jp/recruit/index.html>